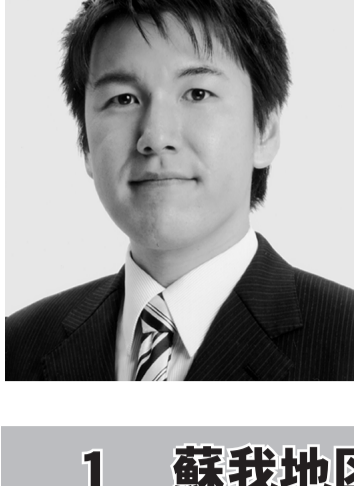


# 亀井たくま ニュース

発行 亀井 琢磨 2015年夏の便り号 (通算第26号)  
自宅 〒260-0042 千葉市中央区椿森3-13-8 携帯 090-3694-4173  
事務所 〒260-0042 千葉市中央区椿森5-4-5 TEL/FAX 043-255-8108  
ホームページは「亀井たくま」検索をお願いします! メール DQG06110@nifty.com



## 2期目も初心を忘れず、市民とともに! 蘇我地区・指定廃棄物処分場は白紙撤回を!

市民の皆様、いかがお過ごしでしょうか!  
4月12日の市議会議員選挙(中央区)において、皆様のおかげをもちまして、5286票を賜り、再選を果たすことができました。今後も初心を忘れず、いただいた2期目の4年間を全力で働いていく決意です。どうぞよろしく願い申し上げます。  
改選後に開催された6月定例会議では、6月16日に一般質問(17回目)に立ちました。主な質疑のやり取りを抜粋してお知らせいたします。  
これから暑い夏を迎えますが、どうぞご自愛ください。

### 1 蘇我地区指定廃棄物処分場問題について

- 4月24日、環境省は、福島原発事故により千葉県内で発生した高濃度放射性廃棄物の最終処分場を中央区蘇我地区の東京電力千葉火力発電所敷地に建設したいとの意向を示しました。突然もたらされた話に多くの市民から不安の声が寄せられています。市民の皆様からの声を受け、質問に立ちました。
- Q 市議会が反対表明してから、市長は再協議を求める方針を示したが、どのような判断からか。市長として反対の意思を示すべきでないか。**  
A (市長) これまで国から説明を受けたが、説明が不十分で納得できる状況にない。市民から懸念の声が寄せられ、市議会において「再協議を求める決議」が採択された経過を踏まえ、市としても再協議を求めたところである。
- Q 再協議を求めたことに対しての環境省の反応は。**  
A (市長) 国からは「今後も選定経緯や施設の必要性・安全性について丁寧な説明を行う努力をしたい」との回答があった。
- Q 再協議を求めたのであれば、住民説明会の開催はストップすべきではないか。拙速に進めることにならないか。**  
A (環境局長) 住民説明会の開催については、国も説明責任を果たしたいとの意向があることや住民からも開催希望が寄せられており、国には説明会を開催してもらう責任があると考えている。
- Q この責任は市民が問題をよく知らないのが実情。市民への周知は。**  
A (環境局長) 市のホームページに掲載するとともに、市政だよりやごみ減量広報紙、ツイッターなど様々なメディアを通じて、市民に広く周知していく。
- Q 処分場建設は、オリンピック競技誘致や「海辺を活かしたまちづくり」「住んでみたいまちづくり」「安全・安心のまちづくり」等の市が掲げる方針と矛盾するものでないか。**  
A (環境局長) 安全性について極めて慎重に確認し、市民の安全を第一に責任をもって対応していく。
- Q 市として、選定過程や安全性について独自に調査や検証をするべきでないか。**  
A (環境局長) 国が責任をもって対応すべきで、納得できる説明をいただくことが肝要であると考えている。
- Q この問題は今後も市議会の意思を重く受け止めてほしいが、市の見解は。**  
A (市長) 議会は二元代表の一翼であり、今後も議会の意思を尊重していく。
- Q 市長は「市民の意見を聞き判断する」と発言しているが、今後、いつ、なにをもって判断するのか。**  
A (市長) 国に対し、6月10日に再協議の申し入れをしたところであり、今後の国との協議の状況、市民の意見を踏まえ、市議会と相談しながら、市民の安全を第一に判断していく。

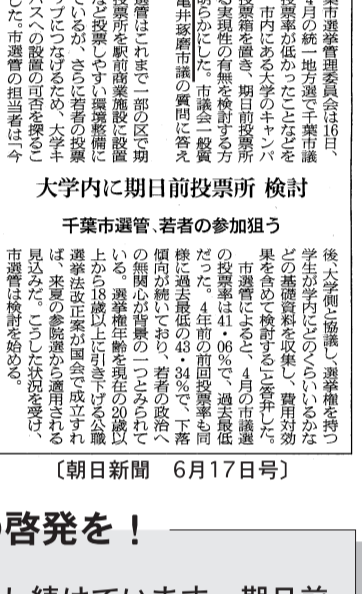


### 亀井はこう考える! 住民の合意なき処分場建設は白紙撤回を!

市民の皆様からいただいたご意見を受け、さまざまな角度から質問を行いました。市長から「市民の安全を第一に考える」「今後も議会の意思を尊重する」という重要な答弁がありました。市議会では議論を重ね、6月8日の議会冒頭で「国に再協議を求める決議」を賛成多数で可決しています。現在、住民説明会も開始されておりますが、今後も私も皆さんの声を受け、白紙撤回を求めてともに行動してまいります。ご意見をお寄せください。

### 2 選挙について

- Q 今回の市議選の投票率は過去最低であったが、期日前投票は全体の2割にまで増加している。期日前投票所については、美浜区・稲毛区では駅近くのイオンに設置をされている。このような商業施設への投票所設置による効果は、また今後の拡大は。**  
A (選管事務局長) 投票しやすい駅前商業施設への期日前投票所設置は一定の効果があったと考えている。残りの4区についても、設置について検討していく。
- Q 選挙公報の紙面充実が行われたことを評価するが、「選挙公報をもっと早く見たい」という市民の声がある。期日前投票も増加しており、もっと早めに新聞折込はできないか。また今後コンビニ等など、配架場所の工夫はできないか。**  
A (選管事務局長) 印刷や配送の関係で、現状の水曜日の新聞折込が最も早い日程となる。なお、有権者からそのような要望をいただいていることから、市の選挙管理委員会のホームページでは告示日の翌日には見られるように改善をしている。今後、コンビニ等にも選挙公報が置けるように検討してまいります。
- Q 公職選挙法が改正され、「18歳選挙権」が現実のものとなる。若者の投票促進のため、大学キャンパスに期日前投票所を設置している自治体もある。本市においても大学キャンパスへの期日前投票所設置を検討してはどうか。**  
A (選管事務局長) 今回の市議選で、淑徳大学の学生からそのような意見があったが、選挙直前であり実現には至らなかった。今後、大学との協議を行い、費用対効果を含めて検討してまいります。
- Q 18歳選挙権導入に向け、今後の若い世代や子どもたちへの啓発活動は。**  
A (市長) 現在、市内小学校で毎年16校ずつ6年生を対象に模擬選挙を実施しているが、今年からは5年生にも拡大して実施する。また市立千葉、市立稲毛、敬愛学園の高校生39名に実際の選挙の投票事務に従事してもらうなどの取り組みも進めている。今後は教育委員会とも連携して、出前授業などの実施などを検討してまいります。



### 亀井はこう考える! 投票しやすい環境づくりと若者への啓発を!

千葉市議選の投票率は過去最低の41.06%でしたが、期日前投票は増加し続けています。期日前投票所は稲毛区・美浜区では商業施設に設置されており効果をあげています。市民の投票の利便性向上のため、他区での拡大を求めました。

また、今回の自身の選挙を通じて、若い世代の方々と話をしましたが、「35歳でまだ1回も選挙に行っていない」という人もいます。多くの若者に選挙に行ってもらうことが大切です。市では、小学生や高校生への啓発活動にも積極的に取り組んでいますが、今後もその方向が確認できました。私も若い世代や子どもたちに少しでも関心をもってもらえるような議員活動をしていく決意です。

このほか、「開票作業の迅速化」「期日前投票時の本人確認のあり方(不正投票対策)」「18歳選挙権導入に向け、「市の各種公募委員会の若者の参加促進」「主権者教育」等についても質問・提案を行いました。

### 3 「障がい」「障がい者」の表記・表現について

- このテーマは平成23年6月議会、26年9月議会でも取り上げており、「障害」という表記・表現を「障がい」などに改めようかと提案していますが、市は「障害」の表記について、「国が引き続き漢字を使用しているのだから等々に改めない」という答弁が続いています。
- このたび市議会の発言者となり、「障がいの漢字表記を変えても意味がない」とか「表記を変えることに反対」という発言が複数あり、この件が報道でクローズアップされ、賛否を含めて大きな反響が寄せられたことから、急遽3度目の質問を行いました。
- Q 市長の発言力は大きい。「『障害』を『障がい』と変えることに反対」「変えても意味がない」という発言が与える影響をどう考えるのか。「変えても意味がない」のであれば、「障がい」とひらがな表記に変えている自治体のやっていることは意味がないのか。**  
A (保健福祉局長) 国での議論でも、最終的に表記の改正は行われておらず、市としては社会にある多くの障害者や障壁が障害者を作り出しているとの視点に立ち、これらの障壁の改善が必要と考えており、「障害」の字の表記をひらがなにすることは適当でないと考えている。なお、ひらがなにしている自治体については、本市が評価すべきことではないと考えている。
- Q なぜ、「障害の『害』の字を変えることがバリアフリー社会に資するものでない」と言えるのか。**  
A (保健福祉局長) バリアフリー社会の実現には障害者の社会参加の制約を排除していかねばならない。市は 社会参加の制約が、障害者個人にあるのではなく、社会との相互作用で生じるものと理解しており、「障害」の漢字表記をソフトにすることが社会的障壁を除去することになると考えている。
- Q これらの市長の発言は、誤解をあたえる部分があり、発言の修正・訂正を求められるか。**  
A (市長) 障害の表記を変えないことに問題があるとは考えていない。
- Q これらの発言は、今後、国も自治体も取り組んでいくこととされる「障がい者差別解消」や「合理的配慮」に逆行するものでないか。**  
A (保健福祉局長) 障害の表記を変えないことは差別解消に逆行するものとは考えていない。
- Q 市長や役所が使用する「障害者のみなさん」という言葉はあまりいい言葉だと思えない。「障がいのある方」「〇〇の不自由な方」など、言葉の言い換えが可能な場合は、なるべく言い換えるようにしてはどうか。**  
A (保健福祉局長) 「障害者のみなさん」という表現は広く使われていると認識している。



### 亀井はこう考える! 制度の充実はもちろん、心のバリアフリーの充実を!

市長の発言を受け、3度目の質問となりましたが、残念ながら、質問に対して誠実な答弁をいただけず、またも議論は平行線でした。

市の立場は「障害者は社会的障壁によって作り出されている」ということですが、障害者基本法の定義は、「障害がある者で、障害及び社会的障壁により日常生活・社会生活に相当な制限を受けるもの」と定義されています。市の答弁は社会的障壁だけに触れる一面的なもので、個々人が持つ個別の障がいによって触れていません。

社会的障壁をなくすためには、制度の充実とともに、心のバリアフリーが重要と私は考えています。現在、多くの自治体や団体が障害の表記を「障がい」に改めたり、呼称の変更(「学習障害」⇒「学習症」、「アスペルガー障害」⇒「自閉スペクトラム症」)に取り組んでいます。多くの自治体が、障がいのある方々の人権や気持ちなどを考慮して、ひらがな表記などに改めていることを「意味がなく、変えるべきでない」として発言は残念です。

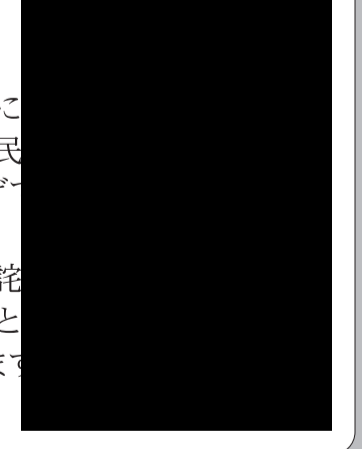
市が言うように「社会的障壁が障害者を作り出している」とすると、「障害者のみなさん」という言葉を使用し、健康者と障害者と区別する必要はありません。それこそが障害者をつくり出す社会的障壁です。できることから、言葉に気を遣っていく。それがバリアフリーなのではないでしょうか。

このテーマについては、障がい当事者の方や思いのある市民の方々から、小さなことだが、ぜひ取り組んでほしいとの意見が寄せられています。障がいがあってもなくても、一緒に共生できる社会、そんな社会に少しでも近づけていくために、今後も制度の充実はもちろん、心のバリアフリーを広げていきたいです。



### 5286票を賜り、2期目がスタート!

4月に行われた市議会議員選挙では、今回も選挙カーを使わず、自転車に中央区内を駆け巡り、街角街角で訴えをさせていただきました。多くの市民の皆様への叱咤激励が身に染みしました。また多くのボランティアの皆様のおかげで最後まで「手づくり選挙」を敢行することができました。  
選挙が終わると、まだまだたくさんご報告ができていない御無礼をお詫申しあげますとともに、5286票という皆様からの付託の重みをしっかりと受け止めて、これから4年間、さらに地域のお役に立てるよう精進してまいります。今後ともよろしくお願い申し上げます。



### 新会派「未来民主ちば」を12名で結成!

選挙前に所属していた会派「未来創造ちば」(無所属6名で構成)は、所属議員の引退等で議席数が4名に減少し、新たな勢力の結集を目指して議論を重ねた結果、民主系議員(8名)と新会派「未来民主ちば」を結成することに至りました。

これまでの会派から議席数は倍増となり、市議会では自民党(17名)に次いで、第2会派となりました。議会内での発言権も増し、重要な役割を果たすことになりました。「市政改革」「議会改革」のため、会派でも真摯な議論をするようにと、議会内でも他会派と切磋琢磨しながら活動してまいります。

### 市政へのご意見は

TEL/FAX 043-255-8108  
携帯電話 090-3694-4173

(事務員もおらず、1人で活動しておりますので、留守が多いです。携帯電話か留守番電話にメッセージをお願いします!お手紙も大歓迎です!)  
ホームページ <http://www.kamei-takuma.com>  
メール DQG06110@nifty.com



フェイスブック、ツイッター、ブログもやっています! 亀井たくま で検索を!

### 亀井たくまのプロフィール

1980年生まれ。椿森出身・在住。35歳。草草部幼稚園、都賀小、椿森中、市立千葉高、早稲田大学政経学部、同大学院公共経営研究科修了。行政書士。社会福祉士。椿森3丁目役員。  
千葉市スポーツ推進委員。院内小スポーツ振興会委員。椿森中青少年育成委員会委員。青少年相談員。ホームヘルパー2級。防災士。保健消防委員会副委員長。保健所運営協議会委員。  
2007年の市議選は21票差で落選。2011年、初当選。2015年再選。日々修行中です!  
趣味は明治〜昭和の懐メロです。(介護施設、老人会、自治会等で懐メロの演奏・茶話会のボランティアができます!詳しくはお電話ください!)好きな歌手は灰田勝彦、東海林太郎です。

市民の皆様と一緒にクリーン・あたたかな市政をめざします!  
ワンコインカンパ(1口500円・複数口大歓迎!)にご協力ください。  
郵便振替口座 00190-7-456984 亀井たくまと亀の歩みの会

最後までお読みいただきまして、ありがとうございました!